

第74回「ハートミーティング」意見交換の内容について 「真のワーク・ライフ・バランス」に資する活動を表彰する制度の被表彰者

★市長からのコメント

- 参加者の皆さんには「真のワーク・ライフ・バランス」の実現に向けて、効率的、創造的で価値ある仕事を進める取組を実践していただいております、元気をもらった。
- 集中タイムや朝メール・夜メールの実施等、緊急時にも対応できるように常日頃から情報共有を行い、仕事の仕方の見直しを図った皆さんの取組はとても素晴らしく、心強く感じた。建設局は、以前に局内で「真のワーク・ライフ・バランス」の実現のために策定した「いきいきプラン～10のきまりごと～」をぶれずに進化させており、特に業務の進捗管理表はいずれ日本中のモデルになるのではないかと思います。
- 職場での孤立、介護や子育て等の課題を抱えている職員がいる。「真のワーク・ライフ・バランス」の取組を行うことで、職場の課題はもちろん、個人の状況を共有し、互いにきょうかんし、支えあい、仕事に取り組んでもらいたい。そうすることで職員同士の距離も近くなり、更に仕事を円滑に進めることができる。
- P T Aや消防団など地域活動への参加はとても大切。地域には様々な考えをもつ方々がおられ、多様であるからこそその難しさや楽しさがある。そうした中でしか得られないかけがえのない経験や、地域の人とのつながりの中で学んだことを仕事に活かしていただきたいと思います。
- 皆さんが「真のワーク・ライフ・バランス」のモデルである。皆さんには更に取組を進化させてもらいたい。また同時に、職場でワーク・ライフ・バランスの実践を推奨し、次に表彰されるような人を生み出してほしい。

★参加者からの声

- 一年間、「働き方見直し」のモデル職場として、超勤の縮減に取り組んだが見える成果を出すことは非常に難しかった。ただ、超勤縮減のために職場内でどう効率よく仕事をするのか議論し、仕事の効率化の意識を高めることができたことが重要であり、そのことが今後超勤の縮減につながってくると感じている。
- 自身がこれまで取り組んで来たことを表彰していただき、認められたことがとてもうれしく、今後の励みになる。また今回の受賞をきっかけに、改めて自分の取組を振り返り、周りの方のサポートにも感謝することができた。このような機会をいただきとても感謝している。
- 地域の活動や消防団の活動に取り組み、職場では得られない新しい縁を手に入れることができた。またそのつながりが自分の仕事をスムーズに進めることにつながることを身をもって実感し、更に地域活動や消防団の方と積極的に交流していきたいと思った。
- 今回のハートミーティングで、特に育児休業を係員に取得してもらうための工夫やその効果について話された職場が印象的だった。この場で聞いたことを自身の職場に持ち帰り、今の自分の立場で部下に育児休業の「取得を積極的に勧めていきたい。